



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年11月1日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 伊藤 公哉

TEL 03-6262-8400

半期報告書提出予定日 2024年11月7日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	968	9.4	87	1.8	94	30.2	65	51.2
2024年3月期中間期	885	9.2	85	36.8	135	24.7	133	13.1

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	16.94	
2024年3月期中間期	34.72	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,285		3,446			80.4
2024年3月期	4,516		3,534			78.3

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 3,446百万円 2024年3月期 3,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		40.00	40.00
2025年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	6.7	320	5.9	350	6.4	240	27.0	62.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	3,909,800 株	2024年3月期	3,909,800 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	60,472 株	2024年3月期	60,472 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	3,849,328 株	2024年3月期中間期	3,849,328 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における、当社の主要顧客である半導体等を始めた電子部品業界は、スマートフォンやパソコン向けのオンデバイスAI期待はまだ道半ばですが、前年度に底打ちした状況からは各社の在庫調整も進み、緩やかに回復の兆しが見えてきております。また、EV化の減速感否めないもののパワー半導体の需要は底堅く、各社の設計設備、生産設備への投資は盛んであります。

このような状況の中、当社は産官学との協力関係を深めアナログ半導体向け設計環境の効率化を追求し続けており、主力製品であるSX-MeisterのアナログLSIの設計自動化に向けたACC (Analog Chip Complier) の機能拡張版およびパワー半導体の設計分野に向けたツールの機能拡張版をリリースするなど製品の競争力を強化するとともに、開発部門の人員増強や最先端プロセス対応に向けた開発組織に変更するなど開発力の強化に努めております。さらにはプライベートセミナーを開催し、AI活用による新たなソリューションを紹介するなどの活動も行っております。また、2024年7月にはTSMCのOIP (Open Innovation Platform) EDA Allianceに加入しました。この加入により、当社の主力製品であるSX-Meisterを使用してアナログやイメージセンサー、メモリ等の設計効率をさらに向上させ、TSMCの最先端プロセス技術でお客様のイノベーションを加速していくこととなります。国内の販売促進活動においては、仏XYALIS社、同じく仏POLLEN社と国内販売代理店契約を締結、競争力のある代理店製品を拡充し、それらを活用した営業活動を積極的に展開しております。デバイス設計受託サービスにおいては、顧客開拓活動を積極的に実施した結果、売上は順調に推移しました。

これらの活動の結果、売上高は9億68百万円(前年同期比9.4%増)となり増収となりました。営業利益は固定費が増加したこともあり87百万円(前年同期比1.8%増)となりました。経常利益は、円高による為替差損等の影響により、94百万円(前年同期比30.2%減)となり、中間純利益は、繰延税金資産の取崩し等の影響により65百万円(前年同期比51.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当中間会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前事業年度末と比較して2億30百万円(5.1%)減少し42億85百万円となりました。内訳として流動資産は1億99百万円(4.8%)減少し39億98百万円、固定資産は30百万円(9.7%)減少し2億87百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、受取手形及び売掛金が1億67百万円(39.9%)減少し2億51百万円となったこと及び、電子記録債権が44百万円(19.0%)減少し1億90百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な原因は、繰延税金資産が20百万円(20.5%)減少し78百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して1億41百万円(14.5%)減少し8億39百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して1億41百万円(14.5%)減少し8億35百万円、固定負債は前事業年度末と同額の3百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、前受金が42百万円(6.7%)減少し5億94百万円となったこと及び、未払法人税等が30百万円(62.0%)減少し18百万円となったことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して88百万円(2.5%)減少し34億46百万円となりました。純資産が減少した要因は、利益剰余金の減少88百万円(4.7%)によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の78.3%から80.4%となりました。

② 当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末と比べ20百万円減少し25億26百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比で91百万円(171.5%)増加し1億44百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少2億11百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比で7百万円(220.1%)増加し10百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出5百万円及び、無形固定資産の取得による支出3百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比で57百万円(60.0%)増加し1億53百万円となりました。内訳は、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表しました2025年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,575	3,462,576
受取手形及び売掛金	418,656	251,621
電子記録債権	235,745	190,877
仕掛品	2,805	1,346
原材料	4,373	3,895
その他	51,099	88,224
流動資産合計	4,198,255	3,998,543
固定資産		
有形固定資産	22,684	20,632
無形固定資産	18,032	17,812
投資その他の資産		
投資有価証券	138,567	131,327
繰延税金資産	99,033	78,710
その他	39,594	38,556
投資その他の資産合計	277,196	248,594
固定資産合計	317,913	287,040
資産合計	4,516,169	4,285,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,107	46,623
未払法人税等	49,073	18,628
賞与引当金	106,859	87,846
前受金	637,084	594,357
その他	121,533	88,368
流動負債合計	977,658	835,823
固定負債		
資産除去債務	3,700	3,700
固定負債合計	3,700	3,700
負債合計	981,358	839,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,524	762,524
資本剰余金	893,443	893,443
利益剰余金	1,907,482	1,818,731
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,534,810	3,446,059
純資産合計	3,534,810	3,446,059
負債純資産合計	4,516,169	4,285,583

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	885,949	968,867
売上原価	307,767	374,696
売上総利益	578,181	594,171
販売費及び一般管理費	492,591	507,049
営業利益	85,590	87,121
営業外収益		
受取利息	25	285
為替差益	20,544	—
助成金収入	22,866	16,794
投資事業組合運用益	5,972	—
その他	14	906
営業外収益合計	49,422	17,985
営業外費用		
為替差損	—	9,759
投資事業組合運用損	—	1,073
その他	—	0
営業外費用合計	—	10,833
経常利益	135,013	94,274
税引前中間純利益	135,013	94,274
法人税、住民税及び事業税	10,466	8,728
法人税等調整額	△9,086	20,323
法人税等合計	1,379	29,052
中間純利益	133,634	65,222

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	135,013	94,274
減価償却費	15,335	14,953
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,462	△19,013
投資事業組合運用損益(△は益)	△5,972	1,073
受取利息	△25	△285
売上債権の増減額(△は増加)	114,935	211,902
棚卸資産の増減額(△は増加)	△938	1,936
前渡金の増減額(△は増加)	△11,008	△39,419
仕入債務の増減額(△は減少)	△90,694	△16,483
助成金収入	△22,866	△16,794
未払金の増減額(△は減少)	565	△15,367
前受金の増減額(△は減少)	△72,841	△42,727
その他	△4,106	△10,362
小計	42,932	163,685
助成金の受取額	21,089	18,437
利息の受取額	27	263
法人税等の支払額	△10,848	△37,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,201	144,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△933,282	△939,077
定期預金の払戻による収入	933,282	939,077
有形固定資産の取得による支出	△939	△5,661
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△3,000
投資有価証券の取得による支出	—	△1,710
敷金の回収による収入	—	66
敷金の差入による支出	—	△177
その他	△348	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,288	△10,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△96,233	△153,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,233	△153,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,476	△776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44,843	△20,854
現金及び現金同等物の期首残高	2,710,836	2,547,725
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,665,993	2,526,871

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、EDAソフトウェア開発・販売コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。